

ララしあコネクト

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧（ユーザーが入力）などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で→[arrows]→[ララしあコネクト]

初期設定画面（生年月日、性別、身長、体重などの入力画面）が表示されます。

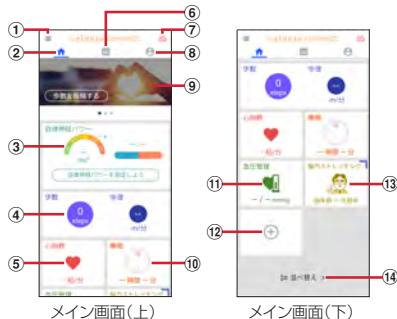
2 各データを入力→[始める]

ララしあコネクトのメイン画面が表示されます。

- 生年月日・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

◆ ララしあコネクトでの測定

ララしあコネクトのメイン画面では、本端末を使用して各種測定やデータ入力が行えます。



① メニュー

- 各種設定やヘルプなどの情報を表示します。

② 測定メニュー

- メイン画面の測定／入力メニューを表示します。

③ 自律神経パワー

- 自律神経の活動量を測定することで、計測～改善活動のサイクルが手軽に行えます。→P121

④ 歩数・歩速の測定

- 歩数、歩速、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量などを測定・表示します。

⑤ 心拍数の測定

- インカメラを利用して顔を認識し、心拍数を測定・表示します。

⑥ ランキング

- ・測定／入力値を元に、全体／同世代／同地域の利用者内でのランキングを表示します。

⑦ データ引き継ぎ

- ・ララしあコネクトのデータをクラウドに同期します。

⑧ プロフィール

- ・生年月日や身長、体重など基礎データを編集・表示します。

⑨ メッセージ

- ・本端末で測定／入力されたバイタル情報を元に、簡易なメッセージや健康管理のヒントを表示します。

⑩ 睡眠の測定

- ・睡眠時、端末を枕元に置いて睡眠時間や眠りの深さを測定・表示します。

⑪ 血圧の記録

- ・ご利用されている血圧計で測定した最高／最低血圧と脈拍数を入力し記録します。
- ・ご利用の血圧計の測定結果をカメラで撮影することで、値を自動的に入力することもできます。

⑫ 連携項目※

- ・Google Fit と連携して栄養情報、身長、体重などの情報を取得します。

⑬ 脳カストretching

- ・脳カストretchingをプレイすることで、脳年齢、脳力指標を測定・表示します。

⑭ 並べ替え

心拍数、血圧管理などのパネルの並べ替えを行います。

※ 連携項目ご使用の際はララしあコネクトにログインする必要があります。

4 お知らせ-----

- ・心拍数の測定にあたっては、なるべく明るい室内で測定するなどの測定環境や、前髪がかからないようにするなどの開始前の注意事項をご確認ください。
 - 周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
 - 医療行為には使用できません。
- ・その他の機能や操作などについては、☰をタップして「ヘルプ・よくあるお問い合わせ」などをご覧ください。

FASTメモ

本端末の操作中にすばやくメモ（テキスト・音声）や写真をとることができます。また、アイコンをロック画面に表示するかの設定が行えます。

1 ホーム画面で→[arrows]→[FASTメモ]

- ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FASTメモ]の[使ってみる]をタップしても起動できます。

2 →[テキストメモ]／[音声メモ]／[写真メモ]

3 画面の指示に従ってメモを保存

- 保存したメモをタップすると、メモを表示／再生できます。

4 お知らせ

- ロック画面にアイコンを表示するには、ホーム画面で→[arrows]→[FASTメモ]→→[FASTメモの起動]→[FASTメモの起動]をタップし、項目を選択します。
- 音声通話中の「音声メモ」の利用では、通話の内容が録音されません。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P31）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、本端末を大きく「8」の字を描くように手首を返しながら約10秒動かします。

◆ 位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で **⌵** → **[設定]** → **[位置情報]**

2 画面右上のボタンをタップして **[位置情報を使用]** をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 **[同意する]**

4 **[位置情報サービス]** → **[Google 位置情報の精度]**

5 画面右上のボタンをタップして **[位置情報の精度を改善]** をONにする

4 お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Google マップ

Google マップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、5G/4G/3G/GSMネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ **[位置情報を使用]** をONにしてください。→P114
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で **[Google]** → **[マップ]**

- Google マップの操作については、画面右上の Google アカウントアイコンをタップ → **[ヘルプとフィードバック]** から使いかたなどをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度の設定を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

- 1 ホーム画面で→[ツール]→[スケジュール]
カレンダー画面が表示されます。
 - クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、
[クラウドサービスを設定する] または [後で設定する] をタップします。

◆ スケジュールの登録

- 1 カレンダー画面で
- 2 各項目を設定→[保存]
スケジュールが登録されます。

▼ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

- 1 通知パネルを開く→通知をタップ
詳細画面が表示されます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

- 1 カレンダー画面で日付をタップ→ご自身で登録したスケジュールをタップ
- 2 スケジュールを確認
スケジュールの編集: [編集] →スケジュールを編集
→ [保存]
スケジュールの削除:  → [1件削除] → [削除する]
- 4 お知らせ-----
 - カレンダー画面でをタップすると、設定などのさまざまな操作ができます。
 - カレンダー画面でをタップすると、日付移動などのさまざまな操作ができます。

時計

アラーム、時計（世界時計）、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間が利用できます。

- アラーム画面／時計（世界時計）画面／タイマー画面／ストップウォッチ画面／おやすみ時間画面で→[設定]をタップすると、時計の設定ができます。

◆ 時計（世界時計）を表示

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

時計画面が表示されます。

- 時計（世界時計）が表示されなかった場合は、時計画面で[時計]をタップします。

4 お知らせ

- 時計（世界時計）画面に世界各地の時刻を表示する場合は、→都市名を入力→都市を選択します。

◆ アラームの利用

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

2 [アラーム]

アラーム画面が表示されます。

3 →時刻を設定→[OK]

4 各項目を設定

ラベルを追加：ラベルを入力します。

今日／明日：曜日を設定していない場合に、今日または明日の設定した時刻にアラームが鳴動します。

：作成した時刻のアラームのON／OFFを設定します。

曜日：アラームを鳴動させる曜日を設定します。

アラームの設定：アラームを鳴動させる日付を設定します。

- 曜日を選択している場合は[アラームの一時停止]が表示され、アラームを一時停止する日付を設定します。

：アラーム音を設定します。

バイブレーション：バイブレーションのON／OFFを設定します。

Google アシスタントのルーティン：Google アシスタントのルーティン機能を設定します。

解除：アラームが鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示され、アラームを解除します。

削除：作成中のアラームを削除します。

4 お知らせ

- アラームの一覧でアラームを削除する場合は、削除するアラームの→をタップします。
- アラームを削除した直後に画面右下に表示される[元に戻す]をタップすると、元に戻すことができます。

◆ タイマーの利用

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

2 [タイマー]

タイマー画面が表示されます。

3 時間を入力→

カウントダウンが開始されます。

4 カウントダウンが終了したら

カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に

- カウントダウンを再開する場合はをタップします。

カウントダウンをリセット：

タイマーを削除：

タイマーを追加：→時間を入力→

- タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：カウントダウン中に [+ 1:00]

- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ ストップウォッチの利用

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

2 [ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

3 

計測が開始されます。

ラップを追加：計測中に

計測を一時停止：計測中に

- 計測を再開する場合はをタップします。

計測をリセット：計測中または停止中に

◆ おやすみ時間の利用

就寝／起床の時間やディスプレイの明るさ、入眠時や目覚ましの音などを設定して、規則正しい睡眠の管理に役立てることができます。

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

2 [おやすみ時間]

おやすみ時間画面が表示されます。

- 説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 各カードをタップ→各項目を設定

スケジュール：就寝／起床時間や通知、ディスプレイや目覚まし音などを設定します。

最近のアクティビティを表示※：おやすみ時間中の本端末の使用状況などを確認します。

安眠サウンドを聴く※：入眠時の音や停止時間を設定します。

今後の予定を確認※：今後の予定を確認します。

※ 設定状況によって表示が異なる場合があります。

電卓

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [ツール] $\rightarrow$ [電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：

数式や計算結果をすべて消去：

関数パッドを表示：

- 本端末を横向きにしても関数パッドを表示できません。

4 お知らせ

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google 検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google アカウントでログインすると、検索の履歴や関心のあるトピックに関する最新情報などが利用できます。

1 ホーム画面で[Google] $\rightarrow$ [Google]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力してをタップすると、Webサイトの検索結果が表示されます。

3 検索結果から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で[Google] $\rightarrow$ [Google] $\rightarrow$  $\rightarrow$ 送話口／マイクに向かってキーワードを発声

- をタップすると、が画面右上に数秒間表示されます。

2 Webサイトの検索結果から選択

4 お知らせ

- Google 検索の詳細については、Google 検索画面で画面右上のアカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で「ツール」→[データコピー]→[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

◆ バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中やバッテリーセーバーの作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

V バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で $\pm$ →[ツール]→[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [バックアップ]→[バックアップ開始]→[開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 [トップに戻る]

V 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で $\pm$ →[ツール]→[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [復元]→[次へ]→[復元開始]→[開始する]
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 3 [トップに戻る]
 - 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

V 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Google アカウントおよび本体に登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で $\pm$ →[ツール]→[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]／[追加]
 - コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 [OK]

自律神経パワー

本端末の背面にある脈波センサーを指で触れることで、自律神経の活動量を測定します。自律神経の活動量を測定・数値化することで、健康管理に役立てます。

1 ホーム画面で  → [arrows] → [ララしあコネクト]

2 [自律神経パワー]

自律神経パワー画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 [測定する]

4 [マイスタンダード測定] / [スポット測定]
→ [次へ]

5 脈波センサーを指の腹で覆う

測定が始まります。

6 タグや今の気分を設定 → [OK]

[マイスタンダード測定] / [スポット測定] の変更ができます。

[スポット測定] を選択した場合は画面の指示に従って操作してください。

7 内容を確認し [次へ]

測定結果が表示されます。

8 [次へ]

自律神経パワー画面に戻ります。

[チャレンジを変更] をタップすると、健康のための習慣を設定することができます。

ホーム：自律神経パワーと自律神経バランスの測定値、健康のために設定した習慣、自律神経パワーについての情報を表示します。

分析：過去の測定結果を表示します。

レポート：過去の自律神経パワーの平均値、歩数、睡眠時間、体重を月ごとに確認できます。

オプション：自律神経パワーの目標年齢や測定モードを設定できます。

本体設定

設定メニュー

設定メニューから各種設定を行います。

1 ホーム画面で「設定」

設定メニューが一覧で表示されます。

- 「設定を検索」をタップすると、設定メニューの項目を検索することができます。

カテゴリ		参照
ネットワーク とインター ネット	インターネット	P123
	通話と SMS	P126
	SIM	P126
	機内モード	P129
	アクセス ポイントとテザリング	P129
	データセーバー	P131
	VPN	P131
	プライベートDNS	P132
接続設定	新しいデバイスとペア設定	P170
	保存済みのデバイス	P171
	接続の詳細設定	P132
	コーデック選択	P133
アプリ		P133
通知		P135
電池とデバイスカ		P135

カテゴリ		参照
ストレージ		P137
ホーム画面設定		P64
ディスプレイ		P137
壁紙		P139
音とバイブレーション		P140
通話設定		P79
ユーザー補助		P141
セキュリティとプライバシー		P143
位置情報		P114
安全性と緊急情報		P151
arrows オススメ機能		P152
ドコモのサービス/クラウド		P158
パスワードとアカウント		P159
Digital Wellbeing と保護者による使用制限		P160
Google		P160
システム	言語	P160
	キーボード	P161
	動作	P162
	歩数計	P162
	日付と時刻	P163
	バックアップ	P164
	システム アップデート	P188
	リセット オプション	P164
	診断データ送信	P165
デバイス情報		P166

インターネット

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n/ax) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時に使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [インターネット]

2 [Wi-Fi] をONにする

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合は、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[接続] をタップします。

4 お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に5G/4G/3G/GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で  → [設定] → [ドコモのサービス/クラウド] → [dアカウント設定] をタップして操作してください。
- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択してください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、 が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続するには、「XXXXはインターネットにアクセスできません」(XXXXはアクセスポイント名) の通知をタップし、表示されたダイアログで [はい] をタップします。この操作を省略するには、[このネットワークについて次回から表示しない] にチェックを付けてから [はい] をタップしてください。また、インターネットに接続され

ていないアクセスポイントは、自動で再接続しない場合がありますので、必ずタップして接続してください。

◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で 王 →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 [ネットワークを追加]

- ㊄ をタップし、QRコードをスキャンしてもネットワークを追加することができます。

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報や詳細設定を設定→[保存]

- ステルス機能を有効にした非公開のWi-Fiネットワークの場合は、[非公開ネットワーク]を[はい]にしてください。

◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で 王 →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[削除]

- [共有]が表示されている場合は、[共有]をタップするとQRコードが表示され、現在接続中のWi-Fiアクセスポイントを共有することができます。
- ✏ をタップすると、Wi-Fiネットワークの設定を編集することができます。
- [接続を解除]をタップすると、ネットワークを削除せずに切断することもできます。
- [自動接続]をONにすると、設定されたWi-Fiネットワークを検知したら自動的に接続します。

◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリを Play ストアで入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で 王 →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、 ⋮ →[デバイスの検索]をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→[OK]

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、[同意する] をタップしてください。

◆ Wi-Fiを自動的にONにする

保存済みの高品質なWi-Fiネットワークを検出したとき、自動でWi-Fi機能をONにすることができます。

- あらかじめ[位置情報] をONにしてください。→ P114

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fiを自動的にONにする]をタップしてON/OFFを設定

4 お知らせ

- 次のような場合は、本機能が動作しない場合があります。
 - [機内モード] がONの場合
 - Wi-Fiを手動でOFFにした直後の場合（検出が再開されるまでしばらく時間がかかります）
 - 保存済みネットワークの設定で[自動接続] が有効になっていない場合

◆ Wi-Fi設定

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 [ネットワーク設定]

3 各項目を設定

Wi-Fiを自動的にONにする：設定方法→P125

利用可能なパブリック ネットワークを通知する：高品質の公共ネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。

証明書をインストール：証明書をインストールします。

Wi-Fi Direct：設定方法→P124

◆ モバイルデータ以外の通信量

モバイルデータ以外の通信量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ以外の通信量も確認できます。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]

2 [モバイルデータ以外の通信量]

通話とSMS

現在利用しているSIMの名称を表示します。
nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、
通話の発信、SMSの送信に使用するSIMについて設定
することができます。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]

[通話とSMS]に現在利用しているSIMの名称が表示
されます。

4 お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は
[通話とSMS]をタップし各項目を設定します。
 - **通話**：通話の発信に使用するSIMを選択します。
 - **SMS**：SMSの送信に使用するSIMを選択します。

SIM

モバイルデータ通信に関する設定を行います。nanoSIM
カードとeSIMの同時利用についてはご利用になれるサー
ビス、機能などが制限される場合がありますので、あら
かじめご了承ください。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→SIMを選択

2 各項目を設定

SIMを使用：SIMカードを使用するかどうかを設定し
ます。

モバイルデータ：設定方法→P127

データローミング：設定方法→P176

アプリのデータ使用量：モバイルデータ使用量がグラ
フで表示されます。また、アプリごとのモバイルデー
タ使用量も確認できます。

データ使用量の警告と制限：設定方法→P128

4G 回線による通話：4Gサービスを利用して、音声
やその他の通話の品質を改善するかを設定します。

優先ネットワークの種類：設定方法→P177

ネットワークを自動的に選択：設定方法→P177

ネットワークを選択：利用するネットワークを設定し
ます。

- [ネットワークを自動的に選択] がONの場合は設定
できません。

アクセス ポイント名：設定方法→P127

2G の許可：2Gの使用を許可するかを設定します。

◆ eSIMをダウンロードする

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→[SIMの追加]

2 [eSIM を設定]→QRコードをスキャン
以降は画面の指示に従って操作してください。

4 お知らせ

- QRコードをスキャンせずに、eSIMを自動でダウンロードすることもできます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本製品は、nanoSIMカードとeSIMを同時に利用することで、電話やモバイル ネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）などの機能にどちらのSIMを利用するかを選択できます。
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、表示される項目や操作が異なることがあります。

◆ モバイルデータ

モバイル ネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）をON/OFFにします。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→SIMを選択

2 [モバイルデータ]をタップしてON/OFFを設定

4 お知らせ

- アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて[モバイルデータ]のON/OFFを切り替えてください。

◆ アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（docomo）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P129

V 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

2 SIMを選択→[アクセス ポイント名]

APNの一覧画面が表示されます。利用中のアクセスポイントにはが表示されています。

V アクセスポイントを追加で設定する<新しいAPN>

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

2 SIMを選択→[アクセス ポイント名]→[+]
アクセスポイントの編集画面が表示されます。

- 3** [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]
- 4** [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]
- 5** その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→⋮→[保存]

4 お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

✓ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1** ホーム画面で⌵→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]
- 2** SIMを選択→[アクセス ポイント名]→⋮→[初期設定にリセット]

4 お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントをタップ→アクセスポイントの編集画面で⋮→[APNを削除]をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆ データの警告と制限

データ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

- 1** ホーム画面で⌵→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]
- 2** SIMを選択→[データ使用量の警告と制限]→各項目を設定

4 お知らせ

- ホーム画面で⌵→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→SIMを選択→[アプリのデータ使用量]→⚙️と操作しても設定できます。
- データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには[再開]をタップします。

機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2 [機内モード]をONにする

4 お知らせ

- イヤホンなど本端末と音声通信するBluetooth機器を接続中に機内モードを設定しても、該当機器とのBluetooth接続は切断されません。
- 機内モードを設定していないときにWi-Fi、Bluetooth、テザリングの各機能がONの場合に限り、前回の機内モード時の設定が再現されます。

アクセス ポイントとテザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、Wi-FiやUSBケーブル、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログイン求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングのご利用には、パケットパック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 最大で15台（Wi-Fiテザリング：10台、USBテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます。（イーサネットテザリングを含みます）

◆ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzと6GHzに対応しています。

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

2 [Wi-Fiアクセス ポイント]→[Wi-Fiアクセスポイントの使用]をONにする

◆ Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時は、アクセス ポイント名には [F-51F_XXXX] (XXXXは4桁の数字) が、セキュリティには [WPA2/WPA3-Personal] が、[アクセス ポイントのパスワード] にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で **王** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [アクセス ポイントとテザリング] → [Wi-Fiアクセス ポイント]

2 アクセス ポイント名を入力 → セキュリティを選択 → アクセスポイントのパスワードを入力

-  をタップし、QRコードをスキャンしてもアクセスポイントの共有をすることができます。

4 お知らせ

- 手順2で [アクセス ポイントを自動的にOFFにする] をONにすると、Wi-Fi対応機器の接続がない状態が続いたときにWi-Fiテザリングが自動的にOFFになります。

◆ USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 02 (別売品) でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続

USBの設定画面が表示されます。

2 [USB テザリング]

4 お知らせ

- Windows 10、Windows 11のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆ Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→ P170

1 ホーム画面で **王** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [アクセス ポイントとテザリング]

2 [Bluetooth テザリング] をONにする

4 お知らせ

- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

◆ イーサネットテザリング

本端末をUSBとイーサネットの変換アダプタを経由したアクセスポイントとすることで、イーサネット対応機器をインターネットに接続できます。

- 1 本端末とイーサネット対応機器をUSBとイーサネットの変換アダプタおよびイーサネットケーブルで接続
- 2 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 3 [イーサネット テザリング]をONにする

データセーバー

データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

- 1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[データセーバー]
- 2 [データセーバーを使用]をONにする
 - ・[モバイルデータの無制限利用] をタップすると、データ使用を無制限にするアプリを設定できます。

VPN (仮想プライベートネットワーク)

VPN (Virtual Private Network : 仮想プライベートネットワーク) は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

◆ VPNの追加

- 1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 [+]→各項目を設定→[保存]

◆ VPNへの接続

- 1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 必要に応じて認証情報を入力→[接続]
VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

◆ VPNの切断

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 切断するVPNを選択
- 3 [切断]

プライベートDNS

対応するDNSサーバーとの通信を自動で暗号化するかを設定したり、利用するプライベートDNSプロバイダを登録したりします。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[プライベートDNS]
- 2 項目を選択→[保存]
 - [プライベートDNSプロバイダのホスト名] をタップした場合は、DNSプロバイダのホスト名を入力します。

接続の詳細設定

Bluetooth機器との接続など、他の機器との接続に関する設定を行います。

- 利用状況により項目が表示されない場合があります。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]
- 2 各項目を選択
 - Bluetooth：設定方法→P170
 - NFC／おサイフケータイ：設定方法→P107、P172
 - キャスト：設定方法→P174
 - 印刷：設定方法→P173
 - Chromebook：本端末と Chromebook™ をリンクします。
 - Quick Share※：本端末の近くにあるデバイスとファイルを共有できます。
 - Android Auto：車の画面でアプリを使用します。
※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

コーデック選択

コーデックに関する設定を行います。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[接続設定]→
[コーデック選択]

2 各項目を設定

利用可能時のQualcomm[®] aptX[™]またはQualcomm[®] aptX[™] HDの設定：Qualcomm[®] aptX[™]またはQualcomm[®] aptX[™] HDの設定を行います。

利用可能時のハイレゾリューションオーディオ向けQualcomm[®] aptX[™] Adaptive 96KHz サンプルレート対応の有効化：Qualcomm[®] aptX[™] Adaptive 96KHz サンプルレート対応のオン/オフを設定します。

オーディオプロファイル設定：オーディオプロファイルを設定します。

アプリケーションオーディオプロファイル選択：インストールされたアプリケーションごとにオーディオプロファイルを設定します。

アプリ

アプリに関する設定を行います。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[アプリ]

2 各項目を設定

最近開いたアプリ：最近起動したアプリが表示されます。すべてのアプリを表示するには [XX個のアプリをすべて表示] をタップします。

デフォルトのアプリ：デフォルトで使用するデジタルアシスタントアプリやブラウザアプリ、ホームアプリ、通話転送アプリ、電話アプリ、発信者番号/迷惑電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。

利用時間：ダッシュボードが表示され、本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりできます。

クラウド メディアアプリ：アプリやウェブサイトから写真や動画の選択が求められたときに、クラウドメディアに接続するアプリを選択します。

使用されていないアプリ：しばらく使用されていないため、権限や一時ファイルが削除されたアプリが表示されます。

アプリのバッテリー使用量：アプリごとにバッテリーの利用方法を設定できます。

特別なアプリアクセス：本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を変更できます。

◆ アプリ情報

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

Ⅴ アプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[権限]

Ⅴ アプリのデータやキャッシュの削除

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[ストレージとキャッシュ]→[ストレージを消去]／[キャッシュを削除]

- [ストレージを消去] を選択した場合は [削除] をタップします。

Ⅴ アプリの削除

- Play ストアで入手したアプリは、Google Play 画面で削除することをおすすめします。→P105
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

Ⅴ アプリの無効化

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなります。アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- [無効にする] を選択した場合は [無効にする] をタップします。

4 お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

Ⅴ 電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします (電池の最適化)。

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[アプリのバッテリー使用量]→[最適化]

通知

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [通知]

2 各項目を設定

アプリの通知：各アプリからの通知を管理します。

通知履歴：通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。

会話：通知パネルに表示されるメッセージアプリでの会話の設定を行います。

バブル：フローティングアイコン（バブル）の表示を許可するかどうかを設定します。

デバイスとアプリの通知：通知を読み取るアプリとデバイスを管理します。

ロック画面上の通知：デフォルトとサイレントの会話と通知を表示するかを設定します。

機密性の高い通知※：機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかを設定します。

サイレントモード：サイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

点滅による通知：通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに、ライトまたは画面を点滅させて通知するかを設定します。

緊急速報メール：緊急速報メールに関する設定をします。

ステータスバーにサイレント通知を表示しない：ステータスバーにサイレント通知を表示するかを設定します。

通知のスヌーズを許可する：通知のスヌーズを許可するかを設定します。

アプリアイコン上の通知ドット：アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。

拡張通知：操作や返信の候補を提示します。

※セキュリティ解除方法を「なし」／「スワイプ」に設定している場合は表示されません。

電池とデバイスカラ

電池残量の確認などを行います。

• 利用状況により表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [電池とデバイスカラ]

2 各項目を設定

（電池の使用状況）：電池残量、電池切れの推定時間を表示します。

バッテリー使用量：前回のフル充電以降のバッテリー残量を表示します。

バッテリーモニター：バッテリー充電能力の状態確認と、将来の予測値を表示します。電池の劣化を防ぐアドバイスを見ることができます。

電池長持ち充電／ダイレクト給電：電池の寿命を延ばす充電方法を設定できます。「電池長持ち充電」ではフル充電量を約85%に抑え、「ダイレクト給電」では端末へ直接電力を供給します。

バッテリーセーバー：設定方法→P136

5G通信の最適化：画面消灯時に通信量に応じて5G通信を制御するかを設定します。

電池残量表示：ステータスバーに電池残量を%で表示するかを設定します。

電力オフピーク充電：電力需給のピークを避けて充電可能な時間帯を設定できます。

診断サポート：本製品の使用に関するお困りごとを診断し、解決をサポートします。→P155

仮想メモリ：設定方法→P136

メモリクリーナー：設定方法→P136

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動／停止します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[電池とデバイスケア]→[バッテリーセーバー]

2 [スケジュールの設定]→[残量に応じて自動でON]

- スライダーをスライドして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。
- [90% 充電されたら OFF にする] をONにすると、電池残量が90%になるとバッテリーセーバーが自動的にOFFになります。
- [バッテリー セーバーを使用する] をタップすると、バッテリーセーバーを手動で起動／停止できます。

◆ 仮想メモリ

ストレージをメモリとして使用する容量を設定します。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[電池とデバイスケア]→[仮想メモリ]

2 容量を選択→[OK]

本端末が再起動し、設定が変更されます。

◆ メモリクリーナー

バックグラウンドのアプリを終了して空きメモリを確保します。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[電池とデバイスケア]→[メモリクリーナー]

2 [メモリクリーナー開始]

- [監視対象外アプリ] をタップしてアプリを登録すると、登録したアプリは終了されなくなります。

4 お知らせ

- メモリクリーナーによってアプリが終了しても、最近使ったアプリには表示されます。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用状況を確認します。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ストレージ]

2 各項目を設定

このデバイス：本端末のメモリの使用容量と合計容量、データごとの使用容量を表示します。

SDカード：microSDカードのデータ一覧画面を表示します。 ≡ →[取り出し]をタップすると、microSDカードのマウントを解除（認識を解除）して安全に取り外すことができます。microSDカードを認識させるには[SDカード]→ ≡ →[マウント]をタップします。

ストレージマネージャ：ストレージ管理ツールを使用するかを設定します。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ストレージ]→[このデバイス]→[SDカード]

2 ≡ →[フォーマット]

3 [フォーマット]→[完了]

4 お知らせ

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

ディスプレイ

画面の明るさなど、画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[ディスプレイ]

2 各項目を設定

明るさのレベル：設定方法→P138

明るさの自動調節：[明るさのレベル]で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。

ロック画面：ロック画面に表示する通知を設定したり、スマートセルフィー／FASTメモの起動ができるように設定したりします。通知を受信したときに通知の画面を表示するように設定することもできます。

画面消灯：設定方法→P138

持ってる間ON：端末を手に持って動きのある間は画面を点灯し続けるかを設定します。

ダークモード：黒背景のテーマに変更します。

フォント：表示フォントを変更できます。

表示サイズとテキスト：フォントサイズや表示サイズ、テキストを太字にするなどの設定を行います。

ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。自動的にブルーライトカットモードをONにすることもできます。

カラー：画面の色合いを設定します。

滑らかな画面表示：画面表示が滑らかになるように設定できます。

画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

スクリーンセーバー：設定方法→P138

4 お知らせ

- 〔画面の自動回転〕をOFFに設定しても、本端末の向きを変えたときにナビゲーションバーにが表示された場合は、タップして画面表示を切り替えることができます。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[明るさのレベル]
- 2 スライダーをスライドして明るさを調整

◆ 画面消灯

画面が消灯するまでの時間を設定します。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[画面消灯]
- 2 時間を選択

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]
- 2 [スクリーンセーバーを使用する]をONにする→設定するスクリーンセーバーを選択
- 3 [起動するタイミング]→項目を選択

◆ ロック画面の表示

ロック画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [ディスプレイ] → [ロック画面]

2 各項目を設定

プライバシー：ロック画面に表示する通知を設定します。

ロック画面にテキストを追加：ロック画面に表示するメッセージを入力します。

CO2削減／歩数の進捗表示：時計と共に、CO2削減／歩数の進捗を表示するかを設定します。

スマートセルフィーの起動※：スマートセルフィーの起動のしかたを設定します。お買い上げ時は、[インカメラ付近から下にスライド] に設定されています。

FASTメモの起動：ロック画面にあるFASTメモアイコンをスワイプしてFASTメモを起動するかを設定します。

デバイス コントロールを使用：ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかを設定します。

ショートカット：ロック画面に表示するショートカットを設定します。

常に表示：ロック画面に情報を常に表示するかを設定します。

画面をダブルタップして時計を表示：画面をダブルタップして、時刻、通知などの情報を確認できるように設定します。

デバイスを持ち上げて時計を表示：本製品を持ち上げることで、時刻、通知などの情報を確認できるように設定します。

新しい通知：通知を受信したときに通知の画面を表示するかを設定します。

※ セキュリティ解除方法を [なし] に設定している場合は表示されません。

壁紙

ホーム画面とロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [壁紙]

2 壁紙タイプを選択

3 画面の指示に従って設定

- 壁紙を変更すると、壁紙の色に応じて、テーマの色が変わります。

音とバイブレーション

音量や着信音、サイレント モードなど音とバイブレーションに関する設定を行います。

1 ホーム画面で → [設定] → [音とバイブレーション]

2 各項目を設定

メディアの音量：設定方法→P141

通話の音量：設定方法→P141

着信音の音量：設定方法→P141

通知の音量：設定方法→P141

アラームの音量：設定方法→P141

サイレント モード：サイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

着信音：電話着信音を設定します。

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

Dolby Atmos：Dolby Atmosの設定をします。

自動字幕起こし：自動字幕起こしに関する設定をします。[自動字幕起こしを使用する]をONにすると、音声を検出して自動的に字幕を表示します。

メディア：音楽再生終了時のパネルスイッチの表示を設定したり、おすすめのメディアを表示するかを設定したりします。

バイブレーションとハプティクス：バイブレーションやタップ操作時のフィードバックの強さを設定できます。

- アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。

デフォルトの通知音：通知音を設定します。

デフォルトのアラーム音：アラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。

画面ロックの音：電源キーを押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。

充電時の音とバイブレーション：充電開始時に音と振動でお知らせするかを設定します。

タッチ/クリック操作音：項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。

バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示：[バイブレーション] に設定したときに、ステータスアイコンが表示されるかを設定します。

終話バイブレーション：通話が終了したときに振動でお知らせするかを設定します。

◆ 音量

メディア再生音、通話音、着信音、通知音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で ⏏ →[設定]→[音とバイブレーション]

2 [メディアの音量]／[通話の音量]／[着信音の音量]／[通知の音量]／[アラームの音量]のスライダーをスライドして音量を調節

4 お知らせ

- [着信音の音量] を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、ミュート（→P141）などに設定してください。
- 音量キーを押しても[メディアの音量]を調節できます。
- 音量キーを押して表示される画面でアイコンをタップすると、バイブレーション／ミュートに設定することができます。
 - 🔔 をタップ（ 🔔 表示）：バイブレーション（着信と通知をバイブレーションでお知らせ）
 - 🔕 をタップ（ 🔕 表示）：ミュート（着信と通知を音やバイブレーションでお知らせしない）
 - 🔊 をタップ（ 🔊 表示）：[着信音の音量] [通知の音量]で設定した音量で着信と通知をお知らせ

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で ⏏ (アプリ一覧)→[設定]→[ユーザー補助]

2 各項目を設定

Exluder機能：電源キーをなぞることで画面のスクロールや拡大をするかを設定します。

あんしんセキュリティ※：あんしんセキュリティを使用するかを設定します。

おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントを利用できるように設定します。

TalkBack：画面上の項目を読み上げるかを設定します。

選択して読み上げ：選択したテキストを読み上げるかを設定します。

表示サイズとテキスト：フォントサイズや表示サイズ、テキストを太字にするなどの設定を行います。

色と動き：画面上の色調、明暗、アニメーション、マウスポインタの表示を設定できます。

さらに輝度を下げる：画面の輝度を設定できる最低限の明るさよりも下げるかを設定します。

拡大：拡大のショートカットや拡大の種類などを設定します。

ユーザー補助機能メニュー：ユーザー補助機能メニューのショートカットなどの設定ができます。

手袋タッチ：設定方法→P142

タイミングの調節：長押しする時間や操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）などの設定を行います。

システム操作：ナビゲーション モードや画面の自動回転などの設定を行います。

バイブレーションとハプティクス：バイブレーションやタップ操作時のフィードバックの強さを設定できます。

- アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。

自動字幕起こし：自動字幕起こしに関する設定をします。[自動字幕起こしを使用する]をONにすると、音声を検出して自動的に字幕を表示します。

字幕の設定：字幕に関する設定をします。

音声による説明：対応する映画や番組で表示される内容の説明を読み上げます。

点滅による通知：通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに、ライトまたは画面を点滅させて通知するかを設定します。

音声の調整：モノラル音声やオーディオバランスの設定を行います。

ユーザー補助機能のショートカット：ユーザー補助機能ボタンやロック画面からのショートカットの設定を行います。

テキスト読み上げの設定：テキスト読み上げに関する設定を行います。

※ 使用状況によって表示されない場合があります。

4 お知らせ

- [システム操作] の [電源ボタンで通話を終了] をONに設定しているとき、通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと、通話を終了できます。

◆ 手袋タッチ

手袋をしていてもタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。

1 ホーム画面で $\pm$ (アプリ一覧)→[設定]→[ユーザー補助]

- ホーム画面で $\pm$ (アプリ一覧) → [設定] → [システム] → [動作] をタップしても表示できます。

2 [手袋タッチ]をタップしてON/OFFを設定

4 お知らせ

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- [手袋タッチ] をONにした状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。
- [手袋タッチ] をONにした状態で、本端末の画面を点灯させたままポケットやかばんの中に入れると、意図しない操作が実行される場合があります。本端末をポケットなどに入れるときはスリープモードにしてください。

セキュリティとプライバシー

セキュリティとプライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[セキュリティとプライバシー]

2 各項目を設定

アプリのセキュリティ：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。

デバイスのロック解除：セキュリティ解除方法と顔認証と指紋認証によるロック解除の設定をします。

アカウントのセキュリティ：Google セキュリティ診断とパスワード チェックアップを行います。

デバイスを探す：本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかを設定します。

システムとアップデート：セキュリティ アップデートやGoogle Play システム アップデート、バックアップを行います。→P188

プライバシー：設定方法→P148

その他のセキュリティとプライバシー：設定方法→P149

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- 初めて設定するとき、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

なし：ロック画面を表示しないように設定します。

スワイプ：スワイプでロックを解除するように設定します。

パターン：最低4つの点を結びパターンでロックを解除するように設定します。

暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。

パスワード：パスワード（4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 ロック画面の通知方法を選択→[完了]

- 手順3で「なし」／「スワイプ」を選択した場合は表示されません。

5 必要に応じて[セキュリティ解除方法]の $\square$ →各項目を設定

- セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。

ロック解除を自動で確認する：6桁以上の正しい暗証番号が入力された際に自動でロックを解除するかを設定します。

暗証番号のプライバシーを強化する：暗証番号入力中のアニメーションを無効にするかを設定します。

画面が自動消灯してからロックまでの時間：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。

電源ボタンですぐにロックする：電源キーを押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。

画面消灯時の指紋を有効にする：画面消灯時でも指紋によるロック解除を有効にするかを設定します。

4 お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、パターン、暗証番号、パスワード、指紋認証のいずれかになります。

V 画面ロックをかける

セキュリティ解除方法を設定（→P143）した後に、電源キーを押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから「画面が自動消灯してからロックまでの時間」で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、電源キーを押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

4 お知らせ

- Google アカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定する

ことができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されている Google アカウントでログインしてください。

<https://www.google.com/android/find>

- 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
- Google アカウントでログインしていない場合は操作できません。

V 解除方法を忘れたときは

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。
- セキュリティ解除方法のパターン／暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

4 お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、ロック画面から緊急通報を行うことができます。→P74

◆ 顔認証機能

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

V 顔認証利用時の留意事項

- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性は他の認証方法よりも劣ります。

V 顔登録時の注意事項

- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

V 顔を登録する

- 1 ホーム画面で **王** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。
- 2 予備のセキュリティ解除方法を選択→画面の指示に従って設定
- 3 [顔認証]
- 4 [開始] → 画面の指示に従って顔を登録 → [完了]

V 顔データを削除する

- 1 ホーム画面で **王** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]
- 2 認証操作
- 3 [顔認証]
- 4 [顔データを削除] → [削除]

V 顔認証の操作

- 1 ロック画面／顔認証中の画面で、顔がインカメラの前になるように本製品を持つ
 - 顔が正しく認証されない場合は、画面をスワイプして、顔登録時に登録したロック解除方法を使用して、画面ロックを解除することができます。

◆ 指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

Ⅴ 指紋認証機能利用時の注意事項

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

Ⅴ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面は防水性能を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかない布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪など硬いものを押し付け、指紋センサー表面に傷が入る
 - 泥などで指紋センサー表面に傷が入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する

- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがあります、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

V 指紋登録

- ホーム画面で 王 →[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。
- 予備のセキュリティ解除方法を選択→画面の指示に従って設定
- [指紋認証／FASTフィンガーランチャー]
- 登録する指をタップ→画面の指示に従って指紋を登録→[完了]
 - [アプリを登録]をタップすると、指紋で起動できるアプリを登録できます。→P147

V 指紋認証の操作

- ロック画面で、登録した指で指紋センサーに触れる
 - 正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法（パターン／暗証番号／パスワード）で認証操作を行ってください。

V FASTフィンガーランチャー

- ホーム画面で 王 →[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]
- 認証操作→[指紋認証／FASTフィンガーランチャー]
- 指紋を登録済みの指をタップ
 - 指紋を登録していない指をタップすると、指紋を追加できます。
 - をタップすると指紋を削除できます。
- [ダイレクトモード]／[ランチャーモード]
 - モード名をタップすると、モードを切り替えることができます。
- 画面の指示に従ってアプリを登録→[完了]

◆ 顔認証と指紋認証の両方を使用する（ダブル認証）

顔と指紋のダブル認証を設定します。

- 以下の本人認証時に、顔と指紋のダブル認証が利用できます。
 - アプリダブルロック
 - arrows passport
 - プライバシーモード
 - 生体認証を利用するアプリ
 - その他の設定変更時
- あらかじめ、顔と指紋の登録をする必要があります。→ P145、P147

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [デバイスのロック解除] → [顔認証と指紋認証によるロック解除]

2 認証操作 → [顔と指紋のダブル認証]

3 [ダブル認証を使用] を ON にする

◆ プライバシー

プライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [プライバシー]

2 各項目を設定

権限マネージャー：アプリの権限の設定を変更できません。

プライバシーダッシュボード：最近権限を使用したアプリを表示します。

広告：Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。

ヘルスコネクト：健康に関するデータへのアプリのアクセス権を管理します。

位置情報を共有する方法の更新：位置情報を共有する方法が変更されたアプリを確認します。

カメラへのアクセス：すべてのアプリとサービスにカメラへのアクセスを許可するかを設定します。

マイクへのアクセス：すべてのアプリとサービスにマイクへのアクセスを許可するかを設定します。

クリップボードへのアクセスを通知：クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたときに、メッセージを通知するかを設定します。
パスワードを表示：パスワード入力時に入力した文字を短い間表示するかを設定します。

位置情報へのアクセス：位置情報を使用するかを設定します。アプリごとに利用許可を設定できます。

アクティビティ管理：ウェブとアプリのアクティビティを保存するかを設定します。

◆ その他のセキュリティとプライバシー

セキュリティとプライバシーに関する詳細な設定を行います。

1 ホーム画面で「設定」→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]

2 各項目を設定

まとめてかんたんセキュリティ設定：設定方法→P155

顔認証と指紋認証によるロック解除：設定方法→P145、P147

アプリダブルロック：設定方法→P154

プライバシーモード：設定方法→P153

ジュニアモード：設定方法→P156

arrows passport：設定方法→P150

ユーザー補助の使用※1：フルアクセスを許可しているアプリの設定をします。

ロック画面上の通知：ロック画面上にプライベートな内容の通知を表示するかを設定します。

ロック画面にメディアを表示：ロック画面にメディアプレーヤーを表示したままにします。

アプリのコンテンツ：Android システムにコンテンツを送信することをアプリに許可します。

Android System Intelligence：交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。

Google の自動入力サービス：Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかを設定します。

使用状況と診断情報：使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかを設定します。

ロック解除延長※2：以下の間、画面ロックを解除したままにできます。

- デバイスを携帯している間
 - 信頼できる場所の近くにある間
 - 信頼できるデバイスの近くにある間
- デバイス管理アプリ：デバイス管理アプリを有効にするかを設定します。

SIM ロック※3：設定方法→P45

暗号化と認証情報：設定方法→P150

信頼エージェント※1：ロック解除延長などの機能の信頼できるエージェントを管理します。

利用アプリの固定：設定方法→P151

SIM の削除時に本人を確認：eSIMを消去する前に本人確認を行うか設定します。

※1 使用状況によって表示されない場合があります。

※2 セキュリティ解除方法を「なし」／「スワイプ」に設定している場合は選択できません。

※3 nanoSIMカードとeSIMのどちらも利用できない状態、または「SIMを使用」がOFFになっている場合は表示されません。

◆ arrows passport

ID (アカウント) やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→ P51

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P143
- 最大100件登録できます。
- 自動引用して入力する場合、[設定] → [パスワードとアカウント] → [自動入力サービス] を [arrows passport] に設定する必要があります。[arrows passport] に設定しても、パスワード入力欄でキーボード上に [arrows passportを使う] が表示されない場合、パスワード入力中の Chrome やアプリを再起動してご利用ください。なお、自動引用するWebサイトやアプリのログイン画面によっては、登録した内容が自動引用されない場合があります。

1 ホーム画面で **王** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [その他のセキュリティとプライバシー] → [arrows passport] → 認証操作

2 [新規登録] → 各項目を設定 → [完了]

編集: タイトルをタップ → 各項目を編集 → [完了]

削除: タイトルをロングタッチ → 画面下部の  までドラッグ → [OK]

並べ替え: タイトルをロングタッチ → 移動先までドラッグ

チュートリアル: **王** → [チュートリアル] → 画面の指示に従って内容を確認

バックアップ／リストア: **王** → [バックアップ／リストア] → 項目を選択 → 画面の指示に従って操作

- バックアップした内容は、OSのバージョンによっては正しくリストアできないことがあります。

全件削除: **王** → [全件削除] → [OK]

◆ 暗号化と認証情報

本端末が暗号化されていることを確認したり、認証情報を管理したりします。

1 ホーム画面で **王** → [設定] → [セキュリティとプライバシー] → [その他のセキュリティとプライバシー] → [暗号化と認証情報]

2 各項目を設定

スマートフォンの暗号化: 内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- 本端末では [スマートフォンの暗号化] の設定を変更することはできません。

信頼できる認証情報: 信頼できる認証情報や証明書を表示します。

ユーザー認証情報: 本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。

ストレージからのインストール: 認証情報や証明書をインストールします。

認証情報の消去: 認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

証明書管理アプリ: 使用している証明書管理アプリを表示します。

◆ 利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]→[利用アプリの固定]
 - 2 画面右上のボタンをタップして[アプリ固定機能を使用]をONにする→[OK]
 - 3 固定したいアプリを起動
 - 4 $\square$ →固定したいアプリのアイコンをタップ→[固定]→[OK]
 - アプリの固定を解除するには、 $\square$ (バックアイコン)と $\square$ (履歴アイコン)を同時にロングタッチします。
- 4 お知らせ-----
- 手順2で[解除時のセキュリティ認証]をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティ解除操作が必要になるように設定できます。

安全性と緊急情報

緊急時の情報の登録や、緊急通報に関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[安全性と緊急情報]
- 2 各項目を設定

医療に関する情報：緊急時の初期対応に役立てられる血液型などの情報を設定します。

緊急連絡先：緊急連絡先を登録します。

緊急 SOS：緊急SOSを使用するかを設定します。緊急SOSを使用する前にカウントダウンアラームを使用するかを設定したり、緊急通報用の電話番号を設定したりできます。

災害情報アラート：周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取るかを設定します。

緊急位置情報サービス：お住まいの地域が緊急位置情報サービスに対応している場合、緊急通報番号に電話をかけるかテキストメッセージを送信すると、本製品の位置情報が緊急サービスパートナーに自動的に送信されます。

地震アラート：周辺の地域でマグニチュード4.5以上の地震が起きた場合に、地震に関する情報を受信するかを設定します。

不明なトラッキングアラート：携帯している不明なトラッカーが検出されたときに通知するかを設定します。

緊急速報メール：緊急速報メールに関する設定をします。

arrows オススメ機能

スライドイン機能などの設定を行います。

1 ホーム画面で → [設定] → [arrows オススメ機能]

2 各項目を設定

はっきり文字：文字やアイコンのサイズを自動で調整し、いつもはっきり見えるように設定します。

Super ATOK ULTIAS：設定方法→P53

Exlizer：電源キーをなぞることで画面の拡大やスクロールができます。

FASTフィンガーランチャー：設定方法→P147

スライドイン機能：設定方法→P153

スマートセルフイー：ロック画面からポートレートですばやく起動します。

FASTメモ：設定方法→P112

仮想メモリ：設定方法→P136

メモリクリーナー：設定方法→P136

バッテリーモニター：バッテリー充電能力の状態確認と、将来の予測を表示します。電池の劣化を防ぐアドバイスを見ることができます。

電池長持ち充電／ダイレクト給電：電池の寿命を延ばす充電方法を設定できます。「電池長持ち充電」ではフル充電量を約85%に抑え、「ダイレクト給電」では端末へ直接電力を供給します。

診断サポート：本製品の使用に関するお困りごとを診断し、解決をサポートします。→P155

まとめてかんたんセキュリティ設定：設定方法→P155

洗い方とメンテナンス方法：本製品の洗い方とメンテナンス方法を確認できます。

プライバシーモード：設定方法→P153

アプリダブルロック：設定方法→P154

アプリピン止め：設定方法→P62

arrows passport：設定方法→P150

自律神経測定機能：設定方法→P121

arrows ポータル (La Member's)：役立つ情報や、暮らしをアップデートするコンテンツを受け取ります。→P108

らくらくコミュニティ：会員同士が交流できる大人世代中心のSNSを利用できます。使用方法→P109

ゲームゾーン：設定方法→P156

シンプルモード切替：シンプルホームに設定され、はっきり文字、かんたん文字入力がON、スライドイン機能がOFFになり、ナビゲーションバーに  (バックアイコン)、 (ホームアイコン)、 (履歴アイコン)が表示されます。また、通話画面がシンプルなデザインに変更になります。

ジュニアモード：設定方法→P156

◆ スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[arrowsオスス
メ機能]→[スライドイン機能]の[設定する]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- [機能説明] をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたを確認できます。

4 お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ プライバシーモード

指定したアプリの非表示や通知のオフをまとめて設定することで、表示／非表示を簡単に切り替えることができます。

- あらかじめ、セキュリティロックを設定する必要があります。[なし]、[スワイプ] 以外の解除方法を設定してください。→P143

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[arrowsオスス
メ機能]→[プライバシーモード]の[設定する]

2 画面の指示に従って操作→[使ってみる]→
[OK]

3 認証操作

4 [プライバシーモードの利用]をONにする

5 各項目を設定

アプリ：隠すように設定したアプリやウィジェットを、ホーム画面やアプリ一覧に表示しないように設定します。

通知：選択したアプリの通知を通知パネルに表示しないように設定します。

着信先：登録した電話番号から着信があったときに、着信を行わずに相手に固定の応答メッセージをSMSで送信します。

指紋認証時のON／OFF：指紋認証を使用して、ロック画面からプライバシーモードをONまたはOFFにするように設定します。

ホームにショートカットを作成する：ホーム画面上にプライバシーモードのショートカットを作成します。

壁紙：プライバシーモードのON/OFFに応じて、表示する壁紙を変更します。

時計表示：プライバシーモードをONに切り替えたときに、時計の表示を切り替えるかどうかを設定します。ONにすると、プライバシーモードがONの間は、時計が**12:34**のように表示されます。

プライバシーモード自動ON機能：プライバシーモードを自動でオンにするかを設定します。

4 お知らせ

- 通知パネルを表示した状態で、時刻表示の横から右または左にスワイプすると、プライバシーモードのONとOFFの切り替えができます。ONからOFFに切り替える場合は、右または左にスワイプした後に認証操作を行ってください。
- [通知] をONにしているときに、隠している通知がある場合は時計が斜体で表示されます。
- arrowsホームまたはシンプルホームをお使いの場合は、プライバシーモードのON時とOFF時のそれぞれでアイコン配置を記憶し、ON/OFFに応じてアイコン配置を変更します。(ウィジェットと一部ショートカットアイコンについては、隠す対象にした場合に記憶できないものがあります。)

◆ アプリダブルロック

指定したアプリに顔と指紋のダブルの生体認証を設定することで、データをしっかり守ります。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります (→P143)。また、以下の設定をすることをおすすめします。
 - 顔と指紋の登録→P145、P147
 - 顔と指紋のダブル認証の設定→P148

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[arrowsオスス
メ機能]→[アプリダブルロック]の[設定す
る]

2 認証操作

3 [アプリダブルロックの利用]をONにする

4 [ロックするアプリを選択]→アプリを選択

- ・[一括解除] をONにすると、ロックするように設定したアプリがまとめて解除されます。

4 お知らせ

- ・アプリダブルロックを設定しているアプリを起動したまま画面をオフにした場合は、再度画面をオンにして画面ロックを解除したときに、アプリダブルロックの認証が省略され、そのままアプリを使用できます。

◆ 診断サポート

本製品の使用に関するお困りごとを診断し、解決をサポートします。

1 ホーム画面で $\leftarrow$ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→[診断サポート]の[使ってみる]

2 [診断を開始する]

3 お困りの症状を一覧から選択

一覧にない場合は、[その他の問診を見る] をタップします。

4 [診断する]

診断結果が表示されます。

5 診断結果を確認→[診断を終了する]

症状が改善しない場合は、[よくある質問 (FAQ)] をタップして、よくある質問 (FAQ) のサイトを参照してください。

4 お知らせ

- [過去の診断結果を見る] をタップすると、過去に診断した症状と結果を確認できます。

◆ まとめてかんたんセキュリティ設定

4つの質問に回答することで、一人ひとりに最適なセキュリティの設定や機能をアドバイスします。

1 ホーム画面で $\leftarrow$ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→[まとめてかんたんセキュリティ設定]の[使ってみる]

2 [使ってみる]→[質問に答える]

3 画面の指示に従って、質問に回答する
診断結果が表示されます。

4 お知らせ

- 診断結果画面で [最適なリスト表示] → [すべて表示] をタップすると、セキュリティの設定項目が表示されます。設定したい項目をタップして、必要に応じて設定ができます。

◆ ゲームゾーン

快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー／ギャラリー機能が利用できます。

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[arrowsオスス
メ機能]→[ゲームゾーン]の[設定する]

2 [ゲームチューニング]

3 必要に応じて各項目を設定

クイック設定：ゲーム中の通知※のON／OFF、ナビゲーションバーのロックをタップですばやく設定できます。

ゲームチューニング：Wi-Fi接続時の通信遅延の抑制、ゲーム起動時のメモリ解放を設定します。

フォーカス設定：ダイレクト給電、リフレッシュレートの変更（最大144Hz）、ゲーム中の着信や通知※、スライドインランチャーの無効化、ナビゲーションバーのロックなどを設定します。

※ 伝言メモまたはLINEなどの他メーカーアプリからの着信などをした場合は、通知の機能が動作しないことがあります。

4 お知らせ

- をタップすると、ゲームチューニングのON／OFFを切り替えることができます。
- 手順1の後、[ゲーム管理]をタップすると、お好みのゲームをランチャーに追加できます。

◆ ジュニアモード

アプリや利用時間の制限を設定することができます。ジュニアモードをONにすると、お買い上げ時の設定では下記アプリケーションが「使用可能なアプリを選択する」にて、使用不可（チェックなし）となっています。

- 小学生：ドライブ、ニューススイート、らくらくコミュニティ、Amazon ショッピング、Chrome、d払い、Disney DX、Facebook、Google TV、iDアプリ、Kindle、Meet、my daiz、radiko+FM、YouTube、YouTube Music
- 中学生：ドライブ、ニューススイート、らくらくコミュニティ、Amazon ショッピング、Chrome、d払い、Disney DX、Facebook、Google TV、iDアプリ、Kindle、Meet、my daiz、YouTube Music
- 高校生：ニューススイート、らくらくコミュニティ、Chrome、Meet、YouTube Music

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[arrowsオスス
メ機能]

2 [ジュニアモード]の[設定する]

3 パスワードを入力→パスワードを再入力

- パスワードは4～16桁の英数字や記号が設定できます。

4 秘密の質問と答えを登録

5 保護者の電話番号を入力→保護者の電話番号を再入力

6 [小学生]／[中学生]／[高校生]→[OK]

- をタップすると使用可能なアプリ、使用できない時間帯、1日の使用可能時間の上限を設定できます。

-  をタップするとパスワードの変更、保護者の電話番号の変更ができます。

4 お知らせ

- アプリの使用を制限する際は、あんしんフィルター for docomoのアプリインストール制限を有効にしてからご利用ください。使用不可に設定したアプリが解除される場合があります。
- ジュニアモードの設定を行うと、ホーム画面上のアプリの配置が変更されます。
設定後にジュニアモードをOFFにした際は、改めてアプリの配置を行ってください。
- ジュニアモード設定中に、すべてのデータを消去（初期設定にリセット）を行うと、端末が初期化されて、ジュニアモードが解除されます。
- バックグラウンドにて動作するアプリについては、制限時間になっても動作し続けます。

V パスワードのリセット

パスワードや秘密の質問を忘れた場合は、パスワード登録時に登録した電話番号から、本端末に特定の数字を入力したSMSを送信すると、パスワードがリセットできます。

- 1 ホーム画面で  → [設定] → [arrowsオスス
メ機能] → [ジュニアモード] の [設定する]
- 2 [忘れた場合] → [忘れた場合]
SMSに入力する特定の数字が文中に表示されます。
- 3 パスワード登録時に登録した電話番号から、
手順2で確認した数字を入力してSMSを送信
 - パスワードのリセットはSMSでのみ利用可能です。
+メッセージを利用する場合は、メッセージ入力画面右上の  → [SMSに切替] をONしてから、メッセージを送信してください。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で**王**→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。

ドコモアプリデータバックアップ：各アプリのデータバックアップ／復元の設定や、データがバックアップされたアプリの一覧を確認できます。

ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデート通知や自動アップデートなどを設定します。

おすすめアプリ：おすすめアプリの設定や、通知の履歴の確認をします。

おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や、ヒントの履歴の確認をします。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

端末情報送信：情報をドコモが管理するサーバへ送信するための設定を行います。

会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。

ドコモ初期設定：本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

4 お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

パスワードとアカウント

アカウントを追加します。また、お客様ご自身のプロフィールなどを登録できます。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[パスワードとアカウント]

2 各項目を設定

パスワード：登録されているパスワードを表示します。

自動入力サービス：自動入力サービスを使用しているアプリを表示します。

所有者のアカウント：登録されているアカウントを表示します。

アカウントを追加：設定方法→P159

アプリデータを自動的に同期する：アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。

マイプロフィール：設定方法→P83

電話番号（SIM スロット 1）／電話番号（SIM スロット 2）：本端末の電話番号を確認できます。

自分から設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報を設定します。

◆ アカウントの追加

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[パスワードとアカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

V アカウントの削除

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

4 お知らせ

• docomoのアカウントは削除できません。

V 手動で同期を開始

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選択→[アカウントの同期]→：→[今すぐ同期]

■ 同期の中止

1 同期中に：→[同期をキャンセル]

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

2 各項目を設定

Google

Google のアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google 設定の詳細については、Google の設定画面で  をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[Google]
Google の設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

言語

本端末で使用する言語を変更します。

1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[システム]→[言語]

2 各項目を設定

システムの言語：設定方法→P161

アプリの言語：アプリごとに言語を設定できます。

地域別の設定：使用する単位と数字を指定します。

音声入力：音声入力サービスを設定します。

デバイスによる認識：デバイスが認識する言語を設定します。

テキスト読み上げの設定：テキスト読み上げに関する設定を行います。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[システム]→[言語]→[システムの言語]

2 [言語を追加]→[English]→[United States]→[English (United States)]の＝を最上段([1]の位置)までドラッグ→[変更]→[OK]

本端末が再起動し、表示される言語が英語に切り替わります。

4 お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
ホーム画面で ⌂ →[Settings]→[System]→[Languages]→[System Languages]→[日本語(日本)]の＝を最上段([1]の位置)までドラッグ→[Change]→[OK]
本端末が再起動し、表示される言語が日本語に切り替わります。

キーボード

文字入力に関する設定をします。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[システム]→[キーボード]

2 各項目を設定

画面キーボード：設定方法→P53、P161

物理キーボード※：設定方法→P55

スペルチェック：スペルチェックを行うかを設定します。

単語リスト：スペルチェックアプリなどで使われる単語を追加します。

ポインタの速度：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

※ 外付けキーボードが接続されているときに表示されます。

◆ 音声検索の設定

Google 音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[システム]→[キーボード]→[画面キーボード]→[Google 音声入力]

2 各項目を設定

動作

本端末を動かすことによって機能を操作できるように設定します。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [システム] → [動作]

2 各項目を設定

Exlider：電源キーをなぞることで画面の拡大やスクロールができます。

カメラをすばやく起動：電源キーを2回押すとカメラを起動するように設定します。ONにすると、どの画面からでもカメラを起動できるようになります。

スライドイン機能：設定方法→P153

ナビゲーション モード：画面をスワイプすることで各種操作を行う「ジェスチャー ナビゲーション」と、ナビゲーションバーにバックアイコン、ホームアイコン、履歴アイコンを表示させる「3ボタン ナビゲーション」を選択できます。

片手モード：片手モードを使用するときの設定を行います。

電源ボタンを長押し：電源キーを長押ししたときに起動する機能を設定します。

手袋タッチ：設定方法→P142

歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- ・[歩数計利用] をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- ・[自分から設定] で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P159

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [システム] → [歩数計]

2 [歩数計利用] をONにする

全履歴の削除：[歩数計の全履歴削除] → [実行] → [はい]

- ・カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

◆ 歩数計ご使用時の注意事項

- ・歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- ・正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- ・次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき

- すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
- 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
- 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。

4 お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- [日時を自動的に設定] / [タイムゾーンを自動設定] / [言語/地域で一般的な形式を使用する] をOFFにすると、日付と時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定できます。

1 ホーム画面で **王** → [設定] → [システム] → [日付と時刻]

2 各項目を設定

日時を自動的に設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。

日付：日付を手動で設定します。

時刻：時刻を手動で設定します。

タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。

位置情報を使用する：タイムゾーンの設定に位置情報を使用するかを設定します。

タイムゾーン：タイムゾーンを手動で設定します。

言語/地域で一般的な形式を使用する：[システムの言語] の設定に従って24時間表示を自動的に切り替えるかを設定します。

24時間表示：24時間表示を手動で設定します。

バックアップ

アプリのデータや本端末の設定などを Google One にバックアップします。

- Google One へのバックアップを利用するためには、本端末に Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 ホーム画面で **⌵** → [設定] → [システム] → [バックアップ]

2 [アカウントの保存容量] → バックアップアカウントを選択

3 [今すぐバックアップ]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行ってください。

リセット オプション

本端末のネットワーク設定やアプリの設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

1 ホーム画面で **⌵** → [設定] → [システム] → [リセット オプション]

2 各項目を設定

モバイル ネットワークの設定をリセットする：モバイル ネットワークの設定をリセットします。

Bluetooth と Wi-Fi のリセット：Wi-Fi、Bluetooth の設定をリセットします。

アプリの設定をリセット：アプリの無効化、デフォルトのアプリ、アプリの権限などをリセットします。

eSIM を消去：ダウンロードされた eSIM を消去します。

すべてのデータを消去（初期設定にリセット）：設定方法 → P165

◆ 本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P137

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 [すべてのデータを消去(初期設定にリセット)]→[すべてのデータを消去]

- eSIMを利用している場合は、[eSIMを消去]にチェックを付けると、eSIMが消去されます。
- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべてのデータを消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

4 お知らせ

- 初期化後、タッチ操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

診断データ送信

詳細な診断データを提供し、端末の品質向上に役立てます。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[システム]→[診断データ送信]

2 [診断データ送信]をONにする→内容を確認して[同意する]

- [バッテリーモニター] をONにすると、バッテリーに関する情報も送信されます。

デバイス情報

電話番号や Android™ のバージョンなど、本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で  → [設定] → [デバイス情報]

2 項目を確認

デバイス名：本端末の名前を設定します。

電話番号 (SIM スロット 1) / 電話番号 (SIM スロット 2)：自分の電話番号が表示されます。

規制ラベル：技適マークや無線LAN (Wi-Fi) 周波数帯など、各規制に関する詳細を表示します。

法的情報：サードパーティ ライセンスや Google 利用規約などに関する詳細を表示します。

SIM ステータス (SIM スロット 1) / SIM ステータス (SIM スロット 2)：SIMカード内の情報 (ネットワーク名や電話番号など) を表示します。

モデル / EID / IMEI (SIM スロット 1) (メイン) / IMEI (SIM スロット 2) / Android バージョン / IP アドレス / Wi-Fi MAC アドレス / デバイスの Wi-Fi MAC アドレス / Bluetooth アドレス / 稼働時間 / ビルド番号：各バージョンや番号などを表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
Audiobooks	オーディオブックのファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Documents	各種ドキュメントファイル
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Recordings	録音した音声ファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P35

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で[Google]→[Files]

2 [見る]→カテゴリまたはストレージデバイスのフォルダ／ファイルをタップ

- 三をタップすると、設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。
 - [削除] をタップすると、使用していないアプリなどを削除して、空き容量を増やすことができます。
 - [ニアバイシェア] ※をタップすると、友達とファイルを共有することができます。
- ※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

3 目的の操作を行う

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 各カテゴリまたはストレージデバイスをタップ→ファイルのサムネイルをロングタッチするか、ファイル名の右にある⋮をタップ（リスト表示の場合）すると、ファイルの共有や削除、移動やコピー、ファイル名の変更などの操作ができます。

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

4 お知らせ

- 対応バージョンについては「主な仕様」をご覧ください。
→P193
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

V Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

V 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n/ax）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON / OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- Bluetooth機能ON / OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[Bluetooth]

2 画面右上のボタンをタップしてON / OFFを設定

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHFP / A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は5台です。
- Qualcomm® aptX™  Qualcomm aptX Adaptive audioおよびaptX Adaptiveを搭載しているBluetooth機器で、aptXおよびaptX Adaptiveオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

1 ホーム画面で**⌵**→[設定]→[接続設定]

2 [新しいデバイスとペア設定]

3 検出されたBluetooth機器名をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK] / [ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合
Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード (PIN) を入力して [OK] / [ペア設定する] をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

「フォト」アプリ (→P103) や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉「フォト」アプリのファイルを送信する

1 「フォト」アプリを開いて画像をタップ

2 →[Bluetooth]→[OK]

3 Bluetooth機器名をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

- 1 Bluetooth機器からファイルを送信
- 2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→「着信ファイル」→「承諾」
 - 受信したファイルは、通知パネルを開いて「Bluetooth共有：受信したファイル」の通知をタップすると確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

イヤホンマイクやキーボードなどのBluetooth機器を接続中の場合は、次の操作で接続を解除できます。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[接続設定]
- 2 接続中のBluetooth機器名右側の ⚙ をタップ→[接続を解除]
 - 再接続する場合は、[保存済みのデバイス] 欄の接続するBluetooth機器名をタップします。

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[接続設定]
- 2 Bluetooth機器名右側の ⚙ →[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]
 - Bluetooth機器との接続を解除している場合は、[保存済みのデバイス] 欄のBluetooth機器名右側の ⚙ →[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]をタップして解除できます。

◆ Bluetooth機器の名前を変更

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[接続設定]
- 2 Bluetooth機器名右側の ⚙ → ✎ →機器名を入力→[名前を変更]
 - Bluetooth機器との接続を解除している場合は、[保存済みのデバイス] 欄のBluetooth機器名右側の ⚙ → ✎ →機器名を入力→[名前を変更]をタップして変更できます。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P107

◆ NFC

NFC機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- NFCを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- [NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF] をONに設定している場合は、画面消灯および画面ロック中はNFCを利用できません。
- アプリによっては、NFCをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのNFC機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。
- FMラジオを聴いているときはNFCを利用できません。

- 1** ホーム画面で **⌘** → [設定] → [接続設定] → [接続の詳細設定] → [NFC／おサイフケータイ] → [NFC／おサイフケータイ] をONにする

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブル A to C 02 (別売品) で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 10、Windows 11に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

2 USB接続の用途を選択

ファイル転送：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。

USB テザリング：設定方法→P130

MIDI：本端末をMIDI入力に使用します。

PTP：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。

充電のみ：充電のみ行います。

3 目的的操作を行う

4 お知らせ

- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]→[このデバイス]→[SDカード]→→[マウント]をタップしてからパソコンに接続します。

プリンタとの接続

◆ デフォルトの印刷サービスでプリンタを接続

デフォルトの印刷サービスではプリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[印刷]→[デフォルトの印刷サービス]

2 画面右上のボタンをタップして[印刷サービスを使用]をONにする

対応のプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、→[プリンタを追加]をタップして手動でプリンタを追加してください。

◆ 印刷

〈例〉「Chrome」アプリで表示しているWebサイトを印刷する

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[共有…]→[印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

- 2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

- 3 印刷を実行

- 画面の指示に従って操作してください。

4 お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

その他の機器との接続

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

- 1 ホーム画面で⬅→[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[キャスト]

- 2 ⋮→[ワイヤレスディスプレイの有効化]にチェックを付ける

- 3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→[接続を解除]

4 お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、アプリによっては映像・音声为正しく出力されないことがあります。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/>

4 お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

○：利用可能

-：利用不可

主な通信サービス	5G	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	-	○	○	○	○
SMS	-	○	○	○	○
パケット通信※	-	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミング設定を「ON」にしてください。→P176

4 お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、パネルスイッチ (→P59) の画面上部に表示されます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約・料金について

事前にWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。ご利用いただいている料金プランによってはお申し込みが不要です。

- 海外でのご利用料金は日本国内とは異なります。
- 詳細については、ご利用いただいている料金プランのホームページをご確認ください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用できません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→P80）、海外から（→P180）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国内の確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

■ 接続について

ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [ネットワークとインターネット] → [SIM] → SIMを選択して、[ネットワークを自動的に選択] をONにしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- 他社のSIMカードを使用してデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P127

V データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

- 1 ホーム画面で $\rightarrow$ [設定] → [ネットワークとインターネット] → [SIM] → SIMを選択
- 2 [データローミング] → 注意画面の内容を確認して[OK]

V 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で $\pm$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→SIMを選択

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ] (パケット通信) をOFFにしてから再度実行してください。→P127

3 通信事業者のネットワークを選択

4 お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で [ネットワークを自動的に選択] をONにしてください。

V 優先ネットワークの種類の設定

1 ホーム画面で $\pm$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]→SIMを選択→[優先ネットワークの種類]

2 [5G/4G/3G/GSM]／[4G/3G/GSM]／[3G/GSM]／[GSM]

4 お知らせ

- 優先ネットワークの種類を自動に設定する場合は、手順2で [5G/4G/3G/GSM] をタップしてください。

V 日付と時刻について

[日付と時刻] の [日時を自動的に設定]、[タイムゾーンを自動設定] をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P163

V お問い合わせについて

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [arrows] $\rightarrow$ [かんたん電話]

- 通話履歴が表示された場合は、[ダイヤル] をタップします。

2 + (「0」をロングタッチ) $\rightarrow$ 国番号、地域番号 (市外局番)、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号 (市外局番) が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本) を入力してください。

3 [電話をかける]

4 通話が終了したら $\rightarrow$

◆ 国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から日本国内へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用して国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります。→P181

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [arrows] $\rightarrow$ [かんたん電話]

2 地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力

3 [電話をかける]

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は[日本(+81)へ発信] をタップします。

4 通話が終了したら $\rightarrow$

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で  → [arrows] → [かんたん電話]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 [電話をかける]

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は[元の番号で発信]をタップします。

4 通話が終了したら 

◆ 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先に関わらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
+（「0」をロングタッチ）-81（日本の国番号）-先頭の「0」を除いた電話番号

◆ 滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

4 お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

V 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [arrows] $\rightarrow$ [通話設定] $\rightarrow$ [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク] $\rightarrow$ [海外設定]

2 各項目を設定

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。

ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

ローミングガイダンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。

ネットワークサービス：設定方法 $\rightarrow$ P180

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、[遠隔操作設定]を開始にする必要があります。 $\rightarrow$ P80
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で $\rightarrow$ [arrows] $\rightarrow$ [通話設定] $\rightarrow$ [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク] $\rightarrow$ [海外設定] $\rightarrow$ [ネットワークサービス]

2 目的のサービスを選択

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するかどうかを設定します。

番号通知お願いサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

ローミング着信通知（有料）：設定方法 $\rightarrow$ P180

ローミングガイダンス（有料）：設定方法 $\rightarrow$ P180

留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申し込みが必要）

転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申し込みが必要）

3 画面の指示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

- 1** ホーム画面で **☰** → [arrows] → [通話設定] → [国際ダイヤルアシスト]

自動変換機能：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。

- 2** [自動変換機能] にチェックを付ける

- 日本国外から電話をかけるときに、+81 が自動で追加されます。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

[SIM] の [データローミング] をOFFに設定します。→ P176

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- [SIM] で [優先ネットワークの種類] を [5G/4G/3G/GSM] に設定します。→ P177
- [SIM] で [ネットワークを自動的に選択] をONにします。→ P177

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→ P188
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。→P38

● 画面が動かない／電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に電源キーと音量キーの上を同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。
- 電源キーと音量キーの上を同時に32秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

● 充電ができない

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P39
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか。→P39
- 本端末をパソコンでUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

● タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P40
- スリープモードになっていませんか。電源キーを押して解除してください。→P41

● 電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
 - 実行中のアプリを終了→P62
 -  (バックアイコン) でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定など arrows についてのサポート情報や便利な使いかたについては、arrows ポータルをご覧ください。→P108
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では「機内モード」をONにするか、電源を切ってください。→P40、P129
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池の残量表示は、劣化度や使用環境、使用状況により数値をまたぐような変化になる事があります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(→P190)をご確認ください。
- 充電量を85%に抑えることにより、内蔵電池の寿命を延ばすことができます。→P152
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→P123、P170

● nanoSIMカードが認識されない

nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。
→P33

● タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、また、充電しながら電話や動画の視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

● 端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
 - 画面の明るさ→P138
 - 画面消灯→P138
 - バッテリーセーバー→P136
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなる場合があります。

● ディスプレイがちらつく

「明るさの自動調節」をONにしていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P137

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻]の[日時を自動的に設定] / [タイムゾーンを自動設定]がONになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P163

●端末動作が不安定

- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
- セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
 - 電源が入っている状態で、電源キーと音量キーの上を同時に押す→[電源を切る] / [再起動]をロングタッチ→[OK]
 - 電源を切った状態で電源キーを3秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続けるセーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

●タップしても正しく操作できない

- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P105、P134

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P134

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P40

■通話・音声

- [電話をかける] /  をタップしても発信できない
機内モードを設定していませんか。→P129

- **通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる**
 - ・ 通話音量を調節してください。→P77
- **通話ができない（場所を移動しても[4]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）**
 - ・ 電源を入れ直すか、nanoSIMカードを取り付け直してください。→P33、P40
 - ・ 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は[4]を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - ・ 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P80
 - ・ [優先ネットワークの種類] (5G/4G/3G/GSM) を変更していませんか。→P177
 - ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
- **着信音が鳴らない**
 - ・ [着信音の音量] を0にしていますか。→P141
 - ・ 次の機能を起動していませんか。
 - 機内モード→P129
 - ・ 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P80
 - ・ 次の設定を0秒にしていますか。
 - 伝言メモの[着信呼出設定] →P79
 - 留守番電話サービスの[呼出時間設定] →P79
 - 転送でんわサービスの[サービス開始] →P79
- **電話が繋がらない**
 - ・ nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P33
 - ・ 市外局番から入力していますか。

・ 機内モードを設定していませんか。→P129

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない

- ・ [NFC／おサイフケータイ] がOFFになっていませんか。→P172
- ・ NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P108
- ・ 本端末の[]マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P106、P107
- ・ おまかせロックを設定するとステータスバーに[]が表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。

■ 海外利用

● 海外で、[]が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

● 海外で、[4]が表示され本端末が使えない

- ・ 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ [優先ネットワークの種類] を [5G/4G/3G/GSM] に変更してください。→P177
- ・ [SIM] の [ネットワークを自動的に選択] をONに設定してください。→P177

- ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P40
- **海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった**
利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミングサービス（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
- **海外で電話がかかってこない**
ローミング時着信規制を「規制開始」にしていますか。→P180
- **相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない**
相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。
- **海外でデータ通信ができない**
データローミングの設定をONにしてください。→P176
- **データ管理**
- **microSDカードに保存したデータが表示されない**
microSDカードを取り付け直してください。→P36
- **データ転送が行われない**
USB HUBを使用していないですか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

- **画像が表示されない**
画像データが壊れている場合は、画像が表示されません。「Files」アプリなどから開くと、黒い画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

- **Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない**
Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P170、P171
- **カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない**
相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ その他

- **USBマストレージに保存したデータが表示されない**
USBマストレージを取り付け直してください。
- **市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない**
 - ・Type-C用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C用変換アダプタと外部機器を接続後、本端末に接続してください。
- ※ 市販品のすべてを保証するものではありません。
HOST機能（OTG機能）対応と記載があるものをご使用ください。

◆ エラーメッセージ

● 空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。

設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。端末の空き容量が低下している場合に表示されます。[設定画面] をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P62、P134

● 指紋認証ハードウェアは使用できません

指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

● 音声サービスと緊急通報のブロック／音声通話サービス停止／緊急通報のブロック／モバイルデータ サービスのブロック

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● SIMは使用できません

nanoSIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P45

● SIMがありません

nanoSIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P33

- 「NTT docomo※」のSIM PIN を入力してください
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。
→P45

※ 利用されている通信事業者名が表示されます。初回起動時は「CARD1」と表示されます。

- SIMが無効になりました。続行するにはPUKコードを入力してください。入力できるのはあとXX回です。この回数を超えるとSIMは完全に使用できなくなります。詳しくは携帯通信会社にお問い合わせください。
nanoSIMカードがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。→P46

- ダウンロード処理中にエラーが発生しました。
同じ理由のエラーが複数回表示される場合は、本端末を再起動の上、再度アップデートを実行してください。

- 充電異常を検知したため充電を停止しました。接続している機器やケーブルがある場合は抜いてください。
ACアダプタの異常などにより電圧が低下している可能性があります。接続しているACアダプタや機器のケーブルを抜いてください。

ソフトウェアアップデート

◆ ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※ 本端末ではシステムアップデートと表示されます。

■ Android OS バージョンアップ

Android OS およびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。

■ 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ セキュリティパッチの更新

セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ソフトウェアアップデートを行う

V 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

■ 更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。

■ 定期的に表示される画面から

本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。

■ 本体設定から

ホーム画面で $\square$ →[設定]→[システム]→[システムアップデート]をタップし、更新を開始します。

※ アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

V 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。
- ※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント(APN)をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。
[2:00以降に再起動] をタップすると、夜間に自動で再起動されます。
※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に[後で行う] をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類が Android OS バージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

V 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号、ソフトウェアバージョン情報など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi 接続が必要です。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中

- 日付・時刻を正しく設定していないとき
- 必要な電池残量がないとき
- 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
- 国際ローミング中
- ・ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- ・更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- ・サポート期間中にソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。
- ・サポート期間終了後にソフトウェアアップデートが配信される場合がございますが、ソフトウェアアップデートについてはお客様の責任において実施してください。

保証とアフターサービス

V 保証について

- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください（付属品がある場合は対象に含みます）。
- ・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。

■ 無料修理規定

- ① 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
- ② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・

水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。

6. ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

- ③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only on Japan.
- ④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- ⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
- ⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTT ドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

V アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください(→P182)。

■ 修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点(店頭もしくはホームページ)にて修理を受付いたします。

なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 内蔵電池の交換は

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換は、有料修理となります。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■本体

サイズ		高さ約162mm×幅約75mm×厚さ約8.5mm
重量		約182g
ディスプレイ	サイズ	約6.6インチ
	種類	有機EL
	解像度（ピクセル数 横×縦）	Full HD+（1080×2400）
内蔵メモリ		RAM：8GB ROM：256GB※1
バッテリー容量	バッテリー容量	5000mAh
	ワット時定格値	18.97Wh
連続待受時間（静止時）※2、3	4G（LTE）	約450時間
連続通話時間※3、4	4G（LTE）	LTE（VoLTE） 約1120分
		LTE（VoLTE（HD+）） 約1110分
充電時間		ACアダプタ 08：約90分

無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz) (IEEE802.11ax対応周波数帯：2.4GHz/5GHz/6GHz)
Bluetooth機能	バージョン	5.2※5
イヤホンマイクジャック	端子径	3.5φイヤホンジャック
	極数	4極
カメラ	有効画素数	アウトカメラ（広角）：約5010万画素 アウトカメラ（超広角）：約800万画素 インカメラ：約1610万画素
伝言メモ	保存可能件数	最大10件
	1件あたりの最大録音時間	最大1分

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。

使用可能な空き容量については、「ストレージ」をご覧ください。→P137

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

- ※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※5 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

携帯電話機の電波防護への適合性

この機種F-51Fの携帯電話機は、国が定めた電波の

人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：X.XXX ^{*2}、身体に装着した場合の最大値：X.XXX ^{*3}となっています^{*4}。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）

が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/product/sar/>
FCNTの製品情報ページ

<https://www.fcnt.com/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用

した値は、側頭部：SAR X/XXX W/kg、PD
X.XXX mW/cm²、身体装着時：SAR X.XXX W/
kg、PD X.XXX mW/cm²です。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

This model F-51F mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves *1. These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm², respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to

indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

The TER for this mobile phone when tested for use near the head is $X.XXX^{*2}$, and that when worn on the body is $X.XXX^{*3*4}$. There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>
Association of Radio Industries and Businesses Website:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html> (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/>
FCNT LLC Product Information Website:
<https://www.fcnt.com/support/sar/> (in Japanese only)

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- *4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of $X.XXX$ W/kg and PD of $X.XXX$ mW/cm² for use near the head, and SAR of $X.XXX$ W/kg and PD of $X.XXX$ mW/cm² when worn on the body.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: **arrows Alpha**

Model Name: **F-51F**

Hereby, FCNT LLC declares that the RE product of "F-51F" is in compliance with RED 2014/53/EU.

The full text of the EU DoC is available at the following internet address:

<https://www.fcnt.com/support/ce/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was X.XXX W/kg^{*3} for HEAD and X.XXX W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- *2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
- *4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Power
GSM	GSM900	880-915MHz	33.5dBm
	DCS1800	1710-1785MHz	29.5dBm
UMTS	FDD I	1920-1980MHz	25.0dBm

Radio type/ Description	Transmitter Frequency	Maximum Power
LTE	FDD 1	1920-1980MHz 24.0dBm
	FDD 3	1710-1785MHz 24.0dBm
	FDD 7	2500-2570MHz 24.0dBm
	FDD 8	880-915MHz 24.5dBm
	FDD 28	703-748MHz 24.5dBm
	TDD 38	2570-2620MHz 24.0dBm
	TDD 40	2300-2400MHz 24.0dBm
	TDD 41	2496-2690MHz 26.0dBm
NR	TDD 42	3400-3600MHz 24.5dBm
	n1	1920-1980MHz 24.5dBm
	n28	703-748MHz 24.5dBm
	n77	3300-4200MHz 24.5dBm
WLAN	n78	3300-3800MHz 24.5dBm
	WLAN 2.4GHz	WLAN 2.4GHz 2400-2483.5MHz 18.91dBm (EIRP)

Radio type/ Description	Transmitter Frequency	Maximum Power
WLAN 5GHz	WLAN 5G Band 1	5150-5250MHz 17.33dBm (EIRP)
	WLAN 5G Band 2	5250-5350MHz 16.98dBm (EIRP)
	WLAN 5G Band 3	5470-5725MHz 18.68dBm (EIRP)
	WLAN 5G Band 4	5725-5850MHz 12.97dBm (EIRP)
WLAN 6GHz	WLAN 6GHz	5925-6425MHz 18.19dBm (EIRP)
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz 8.91dBm (EIRP)
RFID	RFID	13.56MHz -20.79 dBμA/m at 10m

SAR distance Warning: The device could be used with a separation distance of 0.5cm to be human body.

The manufacturer of this product is FCNT LLC with its registered place of business at 7-10-1 Churinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- Operation of transmitters in the 5.925-7.125 GHz band is prohibited for control of or communications with unmanned aircraft systems.

◆ Regulatory information (e-label)

To view the regulatory information, on your phone swipe up from the home screen, then tap:
Setting > About phone > Regulatory labels

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is X.XX W/kg*, and when worn on the body, is X.XX W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID 2BEPUFMP203). For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 0.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.
- * Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained

between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Battery :

- Do not remove the battery from yourself. If you encounter a problem, contact Crosscall Customer Services.
- Use the charger included in your original phone box.
- Do not expose it to temperatures above 55°C / 131°F.
- Do not tamper with your phone using sharp metal objects because this may puncture the battery.
- If your phone has been crushed or severely damaged and the battery is affected, do not touch your phone and contact Customer Services who will tell you the procedure to follow.
- If you detect signs of overheating (abnormal smell, suspicious marks), do not touch your mobile and contact Customer Services

immediately who will tell you what procedure to follow.

- Do not short-circuit.
- Recycle the battery according to standards in force.
- Do not throw into fire.
- Do not charge your phone during an electrical storm.
- Do not use your charger in a humid environment, this could cause short-circuits, fires, or damage the charger.
- Leaving a battery in an extremely high-temperature environment can result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.
- A battery subjected to extremely low air pressure may result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.

※ Temperature range(5°C to 35°C)

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>



High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

Temperature range (5°C to 35°C)

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「おまかせロック」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「公共モード」「マチキャラ」「spモード」「dメニュー」「dマーケット」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「my daiz」「dフォト」「d払い」「dカード」「オフィスリンク」および「dmenu」ロゴ「dmarket」ロゴ「d払い」ロゴ「dカード」ロゴ「ドコモ留守電」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「ギャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。

- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。

利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。



- 「feliCa」はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の登録商標です。

- 「UD新ゴNT」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新ゴNT」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Vidhance®」はVidhance AB社の商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop Express、およびAdobe Photoshop Expressロゴは、Adobe（アドビ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、及びダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの登録商標です。非公開機密著作物。著作権 2012-2023 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。



◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com> をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアにFCNT合同会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。

当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で「 → [設定] → [デバイス情報] → [法的情報] → [サードパーティ ライセンス]」をご参照ください。
オープンソースライセンスに基づきFCNT合同会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<https://www.fcnt.com/support/develop/>

索引

索引

ア行

アイコン	56
ステータスアイコン	57
ステータスバー	56
通知アイコン	56
ナビゲーションバー	56
バックアイコン	56
ホームアイコン	56
履歴アイコン	56
アウトカメラ	31
アカウント	
削除	159
自動で同期	159
自分の電話番号	159
手動で同期	159
設定	159
追加	159
同期の中止	159
アカウントのセキュリティ	143
明るさの自動調節	137
アクセスポイント	127
確認	127
初期化	128
追加	127
アフターサービス	190

アプリ	133
キャッシュを削除	134
検索	71
削除 (アンインストール)	105, 134
ストレージを消去	134
電池の最適化	134
無効化	134
アプリ一覧	67
アプリダブルロック	154
アプリの権限	49
アプリのセキュリティ	143
アプリのデータ使用量	126
アラーム	116
アラーム音	140
洗いかた	27
暗号化	150
暗証番号	44
安全性と緊急情報	151
医療に関する情報	151
緊急 SOS	151
緊急位置情報サービス	151
緊急速報メール	151
緊急連絡先	151
災害情報アラート	151
地震アラート	151
不明なトラッキングアラート	151
イーサネットゼーリング	131
位置情報	
設定	114
位置情報・GPS	112
イヤホンマイク端子	32
インカメラ	31
印刷	173
インターネット	123

英語ガイドンス	80
英語表示	161
エラーメッセージ	187
エリアメール	90
後で確認	91
削除	91
受信	90
遠隔操作設定	80, 180
応答拒否SMS	76
オープンソースソフトウェア	205
おサイフケータイ	106
ロック設定	108
おサイフケータイ対応サービス	106
音とバイブレーション	140
おやすみ時間	117
音声検索	118
設定	161
音声入力	51, 54
音量	141
音量キー	32

力行

海外設定	180
ネットワークサービス (海外)	180
海外利用	175
海外でご利用になる前に	175
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	179
帰国後の確認	181
国際ダイヤルアシストの設定	181
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	178
設定	176
滞在先で電話を受ける	179

滞在先で電話をかける	178, 179
通信サービス	175
外装ケース	31
外部機器接続	173
デフォルト印刷サービスでプリンタを接続	173
パソコンとの接続	173
Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示	174
外部ストレージ	35, 167
顔認証	144
削除	145
登録	145
認証操作	145
顔認証と指紋認証によるロック解除	149
顔認証と指紋認証の両方を使用する (ダブル認証)	148
拡大鏡	59
仮想プライベートネットワーク	131
仮想メモリ	136
壁紙	139
カメラ	95
インカメラ/アウトカメラの切り替え	97
撮影時の注意事項	95
撮影設定	99
撮影モード	99
スロモ録画	99
静止画撮影	97
動画撮影	98
ポートレート撮影	97
QRコード/バーコード読み取り	102
Super Night Shot撮影	98
画面消灯	138
画面の明るさ	138
画面の自動回転	138
画面表示の拡大	63

画面ロック	44
暗証番号	44
解除	41
解除方法の設定	143
かける	41, 144
パスワード	44
パターン	44
画面ロックの音	140
カラー	137
キーボード	50, 161
外付けキーボード	55
手書き入力	50
テンキーキーボード	50
QWERTYキーボード	50
機内モード	129
キャッチホン	79
キャプメモ	61
緊急速報「エリアメール」	90
近接センサー	31
クイック返信	80
ゲームゾーン	156
言語	160
検索	118
音声検索	118
Google 検索	118
公共モード（電源OFF）設定	80
コーデック選択	133
国際ダイヤルアシスト	181
国際電話（WORLD CALL）	75
国際ローミング（WORLD WING）	175
設定	180
ネットワークサービス	180

サ行

材質	15
サイレントモード	140
時刻	163
自動字幕起こし	140
自分からだ設定	159
自分の電話番号	166
指紋認証	146
登録	147
認証操作	147
充電	38
充電用アダプタ	39
注意事項	38
パソコン	40
ACアダプタ	39
充電時の音とバイブレーション	140
終話バイブレーション	140
ジュニアモード	149, 156
受話口／スピーカー	31
仕様	193
照度センサー	31
商標	203
初期化	165
初期設定	42
自律神経パワー	121
診断サポート	155
診断データ送信	165
信頼エージェント	149
スクリーンショット	49
スクリーンセーバー	138
スケジュール	115
登録	115
表示	115

ステータスアイコン	57	タスク管理	62
ステータスバー	56	タッチ／クリック操作音	140
ストップウォッチ	117	タッチパネル	31
ストレージ	137, 167	注意事項	47
スピーカー	32	使いかた	47
スベルチェック	161	タップ	47
スライド	48	ダブルタップ	47
スライドイン機能	61, 153	単語リスト	161
スライドインランチャー	61	ダークモード	137
スライドスポット	61	知的財産権	203
スリープモード	41	着信音	140
スロットキャップ	32	着信拒否	76
スワイプ	48	着信拒否設定	80
静止画表示	103	着信通知	80
静止画・動画撮影画面	96	通気孔	32
世界時計	116	通信事業者	177
セカンドマイク	32	通知	135
セキュリティ解除方法	143	通知アイコン	56
暗証番号	44, 143	通知音	140
顔認証	144	通知パネル	58
指紋認証	146	通話とSMS	126
スワイプ	143	ディスプレイ	31, 137
パスワード	44, 143	縦／横画面表示の自動切り替え	49
パターン	44, 143	データセーバー	131
セキュリティとプライバシー	143	データローミング	176
接続の詳細設定	132	手書き入力	50
設定メニュー	122	テキスト編集	54
送話口	32	テキスト読み上げの設定	142, 160
その他のセキュリティとプライバシー	143, 149	テザリング	129
ソフトウェアアップデート	188	イーサネットテザリング	131
		Bluetoothテザリング	130
		USBテザリング	130
		Wi-Fiテザリング	129
		デバイス管理アプリ	149

タ行

タイマー	116
ダイヤルパッドの操作音	140

デバイス情報.....	166	通話設定.....	79
規制ラベル.....	166	発信者番号通知.....	79
デバイス名.....	166	保留.....	78
電話番号 (SIM スロット 1) / 電話番号 (SIM ス ロット 2).....	166	電話帳.....	81
法的情報.....	166	動画再生.....	103
SIM ステータス (SIM スロット 1) / SIM ステ ータス (SIM スロット 2).....	166	動作.....	162
デバイスのロック解除.....	143	片手モード.....	162
デバイスを探す.....	143	カメラをすばやく起動.....	162
手袋タッチ.....	142	スライドイン機能.....	162
テンキーキーボード.....	50, 52	手袋タッチ.....	162
ケータイ入力.....	52	電源ボタンを長押し.....	162
ジェスチャー入力.....	52	ナビゲーション モード.....	162
フリック入力.....	52	Exluder.....	162
2タッチ入力.....	52	時計.....	116
電源キー / 指紋センサー.....	32	アラーム.....	116
電源を入れる.....	40	おやすみ時間.....	117
電源を切る.....	40	ストップウォッチ.....	117
伝言メモ.....	79	世界時計.....	116
設定.....	79	タイマー.....	116
リスト.....	79	ドコモデータコピー.....	119
録音.....	76	データ移行.....	119
転送でんわサービス.....	79	バックアップ・復元.....	119
電卓.....	118	ドコモのサービス / クラウド.....	158
電池.....		オープンソースライセンス.....	158
充電.....	38	おすすめアプリ.....	158
寿命.....	39	おすすめ使い方ヒント.....	158
電池とデバイスケア.....	135	会員情報 / プロフィール情報設定.....	158
電話.....	73	端末情報送信.....	158
受ける.....	76	ドコモアプリ管理.....	158
かける.....	73	ドコモアプリデータバックアップ.....	158
緊急通報.....	74	ドコモ位置情報.....	158
通話音量.....	77	ドコモ初期設定.....	158
		dアカウント設定.....	158
		USBデバッグ切替.....	158

ドコモメール	84
ドラッグ	48
トラブルシューティング	182

ナ行

内部ストレージ	167
なぞってコピー	62
ナビゲーションバー	56
滑らかな画面表示	137
入力方法の切り替え	53
認証情報	150
ネットワーク	126
ネットワーク暗証番号	44
ネットワークサービス	79, 180

ハ行

バイブレーションとハブティクス	140
バイブレーション モードのときにアイコンを 常に表示	140
背面	31
パスワードとアカウント	159
バックアップ	
ドコモデータコピー	119
Google One	164
発信者番号通知	79
発信履歴	78
バッテリーセーバー	136
パネルスイッチ	59
パン	48
番号通知お願いサービス	80
非接触型決済	107
日付	163
日付と時刻	163

位置情報を使用する	163
言語／地域で一般的な形式を使用する	163
時刻	163
タイムゾーン	163
タイムゾーンを自動設定	163
日時を自動的に設定	163
日付	163
24時間表示	163
表示サイズとテキスト	137
ピンチ	48
ファイル操作	168
フォト	103
静止画表示／動画再生	103
フォント	137
ブックマーク	92
削除	93
登録	92
編集	93
ブッシュ信号	77
物理キーボード	55, 161
プライバシー	143, 148
プライバシーモード	149, 153
プライベートDNS	132
フラッシュ	31
フリック	48
ブルーライトカットモード	137
ブロック中の電話番号	80
分割画面	63
ポインタの速度	161
防水／防塵、耐衝撃性能	22
ホームアプリの情報	72
ホーム画面	
アプリアイコンなどの移動	65
アプリアイコンを追加	65

アプリアイコンをホーム画面から削除.....	65
アプリのアンインストール.....	66
ウィジェットなどの削除.....	66
管理.....	65
設定.....	66
フォルダ名の変更.....	66
見かた.....	64
ホーム画面切替.....	64
保証.....	190
歩数計.....	162
本体メモリ.....	167

マ行

マイク.....	32
マップ.....	114
まとめてかんたんセキュリティ設定.....	149, 155
水抜き.....	29
脈波センサー.....	31
迷惑電話ストップサービス.....	80
メール.....	84, 90
メディア.....	140
メモリクリーナー.....	136
文字入力.....	50
音声入力.....	51
キーボード.....	50
設定.....	53
テキスト編集.....	54
持ってる間ON.....	137
モバイルデータ.....	127
モバイル ネットワーク	
データの警告と制限.....	128

ヤ行

ユーザー補助.....	141
あんしんセキュリティ.....	141
色と動き.....	141
おすすめ使い方ヒント.....	141
音声による説明.....	142
音声の調整.....	142
拡大.....	141
さらに輝度を下げる.....	141
システム操作.....	142
自動字幕起こし.....	142
字幕の設定.....	142
選択して読み上げ.....	141
タイミングの調節.....	141
テキスト読み上げの設定.....	142
手袋タッチ.....	141
点滅による通知.....	142
バイブレーションとハブティクス.....	142
表示サイズとテキスト.....	141
ユーザー補助機能のショートカット.....	142
ユーザー補助機能メニュー.....	141
Exluder機能.....	141
TalkBack.....	141
優先ネットワークの種類.....	177
輸出管理規制.....	202

ラ行

ライト.....	31, 59
らくらくコミュニティ.....	109
ララしあコネクト.....	110
リセット オプション.....	164
アプリの設定をリセット.....	164

すべてのデータを消去（初期設定にリセット）	165
モバイル ネットワークの設定をリセットする	164
Bluetooth と Wi-Fi のリセット	164
eSIM を消去	164
利用アプリの固定	151
留守番電話サービス	79
ロック画面	41
表示	139
ロック画面の表示	139
ロングタッチ	47

英数字・記号

APN	127
arrows passport	150
arrows オススメ機能	152
arrows ポータル (La Member's)	108
Bluetooth 通信	169
機能 ON/OFF	170
接続	170
接続解除	171
データ送受信	170
名前を変更	171
ペア設定	170
ペアリング解除	171
Bluetooth デザリング	130
Chrome	91
新しいタブを開く	92
印刷	93
画像をダウンロード	93
画面操作	91
シークレットタブ	92
設定	94

なぞってコピー	93
表示	91
ブックマーク	92
履歴	92
リンク操作	93
d アカウント	43
d メニュー	104
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	160
docomo LIVE UX	64
Dolby Atmos	140
eSIM	35
ダウンロード	127
FAQ	182
FAST フィンガーランチャー	147
FAST メモ	112
Gmail	90
表示	90
Google	160
Google アカウント	43
Google 検索	118
Google マップ	114
Google Play	104
iD アプリ	108
microSD カード	35, 167
データ消去	137
取り付け	36
取り外し	37
パソコンから操作	173
フォーマット	137
Miracast	174
my daiz NOW	72
nanoSIM カード	33
暗証番号	35, 44
取り付け	33

取り外し.....	34	USB Type-C接続端子.....	32
NFC.....	172	VPN.....	131
NFC通信.....	172	接続.....	131
NFC／おサイフケータイ ロック.....	108	切断.....	132
PINコード.....	44	追加.....	131
設定.....	45	Wi-Fi.....	
入力.....	45	削除.....	124
変更.....	46	接続.....	123
PINロック解除コード (PUK).....	45	設定.....	125
PINロックの解除.....	46	追加.....	124
Play ストア.....	104	モバイルデータ以外の通信量.....	125
アプリのインストール.....	105	Wi-Fiを自動的にONにする.....	125
アプリの削除.....	105	Wi-Fiテザリング.....	129
QRコード／バーコード読み取り.....	102	Wi-Fi Direct.....	124
QWERTYキーボード.....	50	Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部.....	31
radiko+FM.....	109	WORLD CALL.....	75
SAR.....	194	WORLD WING.....	175
SIM.....	126	4G 回線による通話.....	126
SIMカードロック.....	45	5G／4Gアンテナ部.....	31
SmartNews for docomo.....	71	5G／4G／Wi-Fiアンテナ部.....	31
Super ATOK ULTIASの設定.....	53	5G／4G／Wi-Fi／GPSアンテナ部.....	31
オープンソースライセンス.....	54	+メッセージ.....	84
共通設定.....	53	スレッド削除.....	88
初期化.....	54	設定.....	89
操作音・バイブ.....	53	送信.....	86
手書き入力.....	53	転送.....	88
デザイン.....	54	メッセージ削除.....	88
テンキー.....	53	読む.....	88
変換候補一覧の表示.....	54		
ユーティリティ.....	54		
QWERTYキーボード.....	53		
Super ATOK ULTIAS.....	54		
ULTIASオススメ機能.....	53		
USBテザリング.....	130		

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P80

電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P140

電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●ミュート→P141

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P79

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー → My docomo

パソコンから My docomo (<https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントの認証」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 -81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600（有料）

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。

総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶



ドコモのホームページ
<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/>

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

☎ 151

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ <https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/>



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSの回収サービス

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃



Li-ion 00

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 FCNT合同会社

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

☎ 113

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

☎ 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）